



フォトニュース



↑茅野駅でロングモント市訪問団を出迎えるホストファミリー

ようこそ茅野市へ

ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業 ロングモント市訪問団 来日

7月17日、ロングモント市と茅野市のホームステイ事業で、アメリカコロラド州ロングモント市からの訪問団が茅野市を訪れました。平成2年に姉妹都市提携を結んで以来、相互にホームステイ希望者を派遣し、交流を深めてきました。7月27日まで滞在した訪問団は、市内見学や保育園や小中学校を訪問するなど、茅野市の風土や人に触れました。

山岳気象予報士 猪熊さんを大使に 茅野市縄文ふるさと大使 委嘱式

7月4日、茅野市出身または茅野市にゆかりのある著名な方に、茅野市の魅力などを広くPRしていただく「茅野市縄文ふるさと大使」を株式会社ヤマテンの代表取締役の猪熊隆之さんに委嘱しました。大使の知名度による発信力を生かしていただき、茅野市の歴史や文化、芸術、自然、特産品等についての普及広報活動をしていただきます。

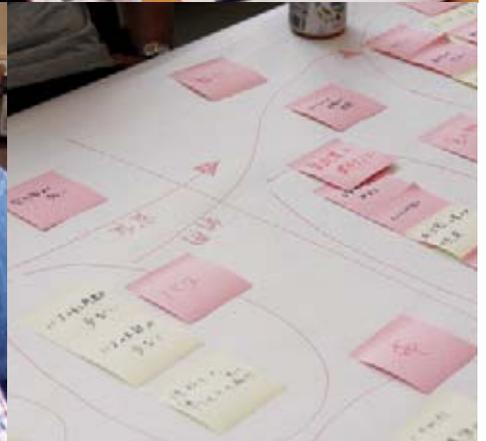


全国18山域59山の山頂の天気予報を運営する国内唯一の山岳気象専門会社ヤマテン (<http://yamatenki.co.jp/>) の代表取締役である猪熊さん。中央大学山岳部監督。国立登山研修所専門調査委員及び講師。カシオ「プロトレック」開発アドバイザー。チョムカンリ(チベット)、エベレスト西稜、剣岳北方稜線冬季全山縦走などの登攀歴がある。

著書に山の天気だまされるな(山と溪谷社)、山岳気象予報士で恩返し(三五館)、山岳気象大全(山と溪谷社)。共著に山の天気リスクマネジメント(山と溪谷社)、安全登山の基礎知識(スキージャーナル)、登山の科学(洋泉社)がある。日本テレビ「世界の果てまでイッテQ」の登山隊やNHK「グレートサミッツ」、東宝「春を背負って」、東映「草原の椅子」など国内外の撮影をサポートしているほか、山岳交通機関、スキー場、旅行会社、山小屋などに気象情報を配信している。2011年秋に、国内初の山岳気象専門会社「ヤマテン」を茅野市に設立。「岳人」「山と溪谷」「PEAKS」など山岳雑誌での気象講座の執筆や、「マツコの知らない世界」「ガイアの夜明け」「視点・論点」などのテレビ出演もあり、講演依頼も多い。

大学生から見た茅野市の魅力・未来 第5次茅野市総合計画策定に向けた 諏訪東京理科大学学生ヒアリング

7月5日、平成30年度から10年間の計画となる「第5次茅野市総合計画」の策定に向けて、諏訪東京理科大学の学生15人からヒアリングを行いました。「茅野市の魅力・課題と提案」のテーマの中で学生からは、「水がおいしい」「夜が静か」「工業の企業・イベントが多い」「車がないとどこにも行けない」といった意見が出され、「茅野市の理想の10年後の姿」では、「交通に困らない街」「変わらず緑豊かな所」「山岳鉄道がほしい」などの声が聞かれました。学生の意見は、総合計画の審議会に報告し、計画策定に活かしていきます。



↓災害時備蓄水の目録を受け取りました。



有事に備えて 災害時備蓄水 寄贈式

6月29日、北陸コカ・コーラボトリング株式会社諏訪支店より災害時における備蓄水の寄贈がありました。寄贈されたのは「森の水だより」(2リットル×6本入り)を50ケースです。北陸コカ・コーラボトリング株式会社と茅野市は、平成28年3月に災害時における優先的に飲料水の提供や災害対応型自動販売機の設置などを行う災害協定を締結しています。寄贈式の中で北陸コカ・コーラボトリング株式会社諏訪支店支店長浅川和様は、「備蓄水は使わないのが一番ですが、市民のために有効活用してほしい」と語りました。

↓一斉にオオムラサキを放つ参加者たち。



オオムラサキが舞う山に 小泉山 オオムラサキ放蝶会

7月16日、小泉山体験の森創造委員会ではオオムラサキの放蝶会を開催しました。オオムラサキの飼育は2012年から始め、現在は6メートル四方の保護施設の中で卵から成虫となるまで育て、小泉山に放します。この活動は小泉山にはいなくなってしまうと思われていたオオムラサキが発見されたことをきっかけに始まりました。再びその姿を取り戻すために、これからも活動を続けていきます。